

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2006-41796 (P2006-41796A)

【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-006

【出願番号】特願 2004-217176 (P2004-217176)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

G 0 3 B 7/00 (2006.01)

G 0 3 B 7/08 (2006.01)

G 0 3 B 7/093 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/235

G 0 3 B 5/00 F

G 0 3 B 5/00 K

G 0 3 B 7/00 B

G 0 3 B 7/08

G 0 3 B 7/093

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 24 日 (2007.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数枚撮影して得られた複数の画像を合成することにより、露出の補正された合成画像を得る撮影装置において、

撮影装置に加わる振動を検出する振動検出手段を有し、前記振動検出手段の検出結果に応じて、撮影時の各画像の露光時間と露光枚数を変更する制御手段を有することを特徴とする撮影装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、振動検出手段からの検出結果が所定値より大きい場合には、焦点距離の逆数に基いて決定された第一の露光時間で複数枚の撮影を行い、検出結果が所定値より小さい場合には、前記第一の露光時間よりも長い第二の露光時間で複数枚の撮影を行うことを特徴とする請求項 1 記載の撮影装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、振動検出手段からの検出結果が所定値より大きい場合には、第一の露光枚数で複数枚の撮影を行い、検出結果が所定値より小さい場合には、前記第一の露光枚数より少ない第二の露光枚数で複数枚の撮影を行うことを特徴とする請求項 1 記載の撮影装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、撮影準備動作の間の振動検出手段からの検出結果が所定値より大きい場合には、焦点距離の逆数に基いて決定された値を露光時間として、前記露光時間から計算される撮影時間となる露光枚数で撮影を行い、検出結果が所定値より小さい場合には、前記焦点距離の逆数に基いて決定された値よりも長い時間を、露光時間として前記露光時間から計算される所望の撮影時間となる露光枚数で撮影を行うことを特徴とする請求項 1 記載の撮影装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、複数枚の撮影における各撮影の直前の振動検出手段からの検出結果が所定値より大きい場合には、焦点距離の逆数に基いて決定された値を露光時間として撮影し、検出結果が所定値より小さい場合には、前記焦点距離の逆数に基いて決定された値よりも長い時間を露光時間として撮影し、所望の撮影時間となるまで複数回の撮影を行うことを特徴とする請求項 1 記載の撮影装置。